衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会ニュース

平成 21.6.11　第 171 回国会第５号

6 月 11 日（木）、第５回の委員会が開かれました。

1　沖縄科学技術大学院大学学園法案（内閣提出第 43 号）
・佐藤国務大臣（沖縄及び北方対策担当大臣）及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
・嘉数知賢君外２名（自民、民主、公明）提出の修正案について、提出者三井辨雄君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
・修正案について採決を行った結果、全会一致をもって可決されました。
（賛成－自民、民主、公明、共産）
・修正部分を除く原案について採決を行った結果、全会一致をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。
（賛成－自民、民主、公明、共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

嘉　数　知　賢君（自民）

・沖縄科学技術大学院大学（以下、「大学院大学」という。）は何のために設置し、また、なぜ沖縄にこのプロジェクトが必要なのか伺いたい。
・教育目標、入学資格、入学試験の有無、定員数、授業料等大学院大学についての概要を伺いたい。
・沖縄担当大臣や総理大臣が代わろうが、このプロジェクトを推進していく政府の方針は変わることがあってはならないと考えるが、どうか。

江　田　康　幸君（公明）

・沖縄科学技術大学院大学学園（以下、「学園」という。）を特別の学校法人とした理由及び学園に対する補助金は内閣府が拠出すると理解して良いのかということについて伺いたい。
・知的クラスターを形成するために、ベンチャー企業、琉球大学､県との連携についてどのように考えているのか。
・学園では教員や学生に外国人を積極的に採用するとともに若手研究者を積極的に活用する必要があると考えるが、人材の活用についてどのように取り組むのか。

三　井　辨　雄君（民主）

・大学院大学が沖縄振興にもたらす効果について佐藤沖縄及び北方対策担当大臣の見解を伺いたい。
・研究内容、研究者数、特許の扱い等大学院大学の全体像について伺いたい。
・理事の選任の特例が大学院大学にもたらす効果及び経営の透明性を地元と連携して確保する必要性について伺いたい。

加　藤　公　一君（民主）

・大学院大学の理事の選任手続及び学長にふさわしい人材について伺いたい。
・研究者に対する評価システムの整備及び大学院大学周辺地域のインフラ整備の進捗について伺いたい。
・大学院大学修了者の就職支援に対する政府の認識を伺いたい。

市　村　浩一郎君（民主）

・大学院大学の教育方針に対する考え方及び設置に向けた佐藤沖縄及び北方対策担当大臣の決意を伺いたい。
・理事には学校経営の感覚を持った人材を含むようにすべきではないか。
・研究者及び学生の確保に資するため、大学院大学の設置を広く内外に知らせ、理解してもらうべきではないか。

赤　嶺　政　賢君（共産）

・優秀な主任研究者、学生を確保するための方策を伺いたい。
・大学院大学を核とした産官学の連携及び知的クラスターの形成が沖縄の振興とどのように結びつくのか伺いたい。
・大学院大学関連予算により沖縄振興予算が圧迫される恐れはないのか。

２　北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律の一部を改正する法律案起草の件

・前原委員長から趣旨説明を聴取しました。

・衆議院規則第 48 条の２の規定により内閣の意見を聴取したところ、佐藤国務大臣（沖縄及び北方対策担当大臣）から「異存はない」旨の発言がありました。

・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
（賛成－自民、民主、公明、共産）